

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回行田市立地適正化計画策定委員会
開 催 日 時	令和4年12月13日（火） 開会：13時30分 ・ 閉会：14時30分
開 催 場 所	行田市産業文化会館2階 第2会議室
出席者（委員） 氏名	田尻 要、細井保雄、長岡幸雄、根岸節子、長谷川淳、 大島正信、酒井敦司、黒坂和実、樽見 潔
欠席者（委員） 氏名	鈴木貴大
事 務 局	【都市整備部】斎藤次長 【都市計画課】寺田課長、藤野副参事、馬場主幹、芹澤主査、 増田主事
会 議 内 容	立地適正化計画の計画概要・スケジュールについて
会 議 資 料	（資料名・概要等） ・ 次第 ・ 資料1 立地適正化計画の計画概要・スケジュール ・ 資料2 地域公共交通計画 ・ 行田市立地適正化計画策定委員会設置要綱 ・ 委員名簿
その他必要事項	傍聴人 1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認
事務局	<p>2 委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状の交付
斎藤次長	<p>3 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市整備部斎藤次長あいさつ
事務局 田尻委員長	<p>4 委員長・副委員長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長として田尻委員を任命 ・田尻委員長より副委員長として細井委員を指名
田尻委員長	<p>5 議事</p> <p>立地適正化計画の概要・スケジュール等について事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>説明資料に沿って説明</p>
田尻委員長	<p>ただいま説明があったが、意見等はあるか。</p>
樽見委員	<p>オープンハウスとはどのようなものか。</p>
事務局	<p>立地適正化計画についてのパネルを作成し、そちらに市民の皆さまの意見をいただくような市民参加の手法の1つである。従来は説明会を開いて市民の皆さまに意見をもらっ</p>

	<p>ていたが、いろいろな人の目に留まるように、お祭りや人が集まる商業施設等で立地適正化計画の案を示し意見をもらう想定である。</p>
<p>長岡委員</p>	<p>都市インフラの関係で、都市計画事業のみなし認可と資料にあるが、これについて補助率は今どの程度として検討しているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>都市インフラの整備についても都市構造再編集中支援事業の計画に載せることとなるため、同事業での補助率となり、都市機能誘導区域では50%、居住誘導区域では45%である。</p>
<p>田尻委員長</p>	<p>資料のボリュームがあるため、また何かあれば、事務局や私まで質問や意見をもらいたい。</p>
<p></p>	<p>6 その他</p>
<p>事務局</p>	<p>立地適正化計画との関わりが深い、地域公共交通計画について説明資料に沿って説明</p>
<p>根岸委員</p>	<p>近年、高齢者が車の運転で事故を起こすといった残念なニュースが流れているが、日本は田舎に行けば行くほど高齢者が車を運転しなくてはいけないという社会になっている。そういうことをしなくても済むようなまちをつくるという計画であるという認識でよろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地域公共交通計画にて、バスやデマンドタクシーなどの公共交通を利用者が使いやすくなるよう計画を進めている。</p>

酒井委員	<p>立地適正化計画や地域公共交通計画によって主要な拠点 を公共交通でつなげていくと思う。その際に、拠点とする 場所に立地する老朽化した都市インフラを再整備すること を計画に位置づけ交付金の対象としていくのだと思うが、 事業認可を貰えるようなレベルで取るとすると、対象とす る都市インフラはどの程度までを想定しているのか。</p>
事務局	<p>都市計画施設である道路、公園、下水道などは認可とし てみなされるため、ある程度はっきりと計画書に書き込ん でいくものと考えている。しかし、都市機能施設である病 院や福祉施設などは都市計画施設ではないため、認可を受 けることを目的としていない。</p>
事務局	<p>次回の策定委員会は1月30日の午後を予定している。 後日通知を送付するのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>7 閉会</p>